

統計的に見てあなたは受かるという話

「経済産業省の春の情報処理技術者試験が賑々しくもまた楚々と言われました。早速、受験者速報が情報処理機構者試験センターのホームページに掲載されておりますので、(http://www.jitec.jp/index.html) ここでその情報を分析し、今後の情報処理世界の展望など、見ていきたいなあと思います」

「そうそうホームページのURLが4/20から新しいのだけになっちゃったね、古いURLは見えなくなってもうぼっくり、というわけで表1」

| 試験区分 | 応募者数 | 前年同期応募者数 | 増減数 | 受験者数 | 受験率 |
|----------------------------|---------|----------|---------|---------|--------|
| ソフトウェア開発技術者 | 82,137 | 83,086 | △949 | 48,959 | 59.60% |
| テクニカルエンジニア (データベース) | 24,980 | 24,322 | 658 | 13,583 | 54.40% |
| テクニカルエンジニア (システム管理) | 14,047 | 13,546 | 501 | 7,265 | 51.70% |
| テクニカルエンジニア (エンベデッドシステム) | 3,717 | 3,856 | △139 | 2,359 | 63.50% |
| 初級システム アドミニストレータ | 109,806 | 120,004 | △10,198 | 74,992 | 68.30% |
| システム監査技術者 | 9,241 | 8,383 | 858 | 4,726 | 51.10% |
| 基本情報技術者 | 127,523 | 134,252 | △6,729 | 85,714 | 67.20% |
| 合計 | 371,451 | 387,449 | △15,998 | 237,598 | 64.00% |

表 1

「それを言うならびっくりだろう。それはそれとして、なにげに前年差を見ると初級シスアド、基本情報の基礎2種別について大幅に応募者数が減っております」

「でも応募者数自体が多いから」

「初級シスアドは91.50%になったし、基本情報も94.99%。それに対してソフ開も減っているとはいえ98.86%。明らかに基礎系人気が下落だ。ま、エンベデッドは96.40%で微妙だが、他の高度系は軒並み応募者数増加だ」

「つまり基礎をどんどん受かって上級へとステップアップ！」

「合格率は一定だからそんなことはない。新たに情報処理試験に挑戦する者が減ってきているからに他ならない」

「困ったもんだね、でもそれならなぜ高度資格試験受験者が増加しているのか、それを知りたい。あ、いきなり高度を受ける人が出てきたんだ、そうだから基礎が少なくなったとか」

「合計で1万5千人も減っているんだからそんな奇妙な考えはいただけない。平成13年度からの試験制度の変更で高度試験の年齢制限撤廃や業務経歴書の提出が不要になったことが大きい」

「ふーん、じゃあ高度は安泰だね。技術者は高みに集まる逆ピラミッドに…」

「それは困る展開だ、一度受かったらOKな資格だから日々刻々進化する情報技術の世界では5年10年前は勿論、1年前のそれですらもはや陳腐化するというのに」

「じゃ、どうしよう？ 漢字検定みたいに有効期限つき資格にするの？」

「それはITコーディネータ・補資格で実現されている。故にそれとは違った方向性として情報処理技術者試験がそうなるかどうかは可能性薄い」

「じゃ、資格なんて嬉しそうにもっていても仕方ないじゃないの？」

「だから資格を腐らせないためにも基礎資格である初級シスアドや基本情報などを受かって満足するでなく、常に高みを目指し、試験を受け続けるという姿勢が大事だ。例え合格でなくても試験を受けたということだけで最新に近い情報技術に試験問題を通して触れていられる。この意味は大きい」

「そうなのだ」

「いや、なのだって…言われても」

「でも、そうかーって納得するのはなんか癪だし、わたしも断言しといてそちらの人と同じスタンスにいるようになることにより、また1ランクアップ！！」

「…」

「いいよいいよ、1ランクダウンだよ。回って落ちないだけまし！」

「ま、回るか回らないかはおいでにおいて、やはり試験は申し込んだ以上、受験するべきだ。前述したとおり、試験問題をとおして多くの知識の片鱗に触れ、経験を疑似体験できる。だから受験して、午後の最後の試験まで試験を受験することが肝要である」

「参加することに意義があるのですな、オリンピックですね」

「そうなのに、先ほどの受験者速報を見ておわりのとおり、軒並み受験率が低い。特に高度になるほど低く、シス管や監査などもはや半分しか受けていない」

「そだねー、基礎系でも3割以上受けていないね。そんなに急な休日出勤が入るのかなー？」

「入る人はいつも入って泣いているのだが、それよりもなによりも、勉強していなかったから自信がないとか、今回は雨降って面倒だからとか、午前受けたもののその結果が思わしくなく、どうせ午後の試験受けても採点すらしてもらえないから帰るという人などが多い」

「でも雨振りはいやだよ、お昼おべんと食べようとしても外で食べられないから試験受けてる所で食べると気がめいるう」

「確かに、お昼や休憩時間はちょっと場所を変えた方が気分転換になってよいが、だからと言ってわざわざ外に出なくても他の部屋行くとか、大体試験会場は大学が多いから人が集まれるスペースがあるのでそこにいくとかすればいい。ようは試験会場に出向くのが億劫だからだ」

「そうそう、女子大で試験あるのもいや。女しかない。試験官も受験者も女」

「そんなもんなのかなー？」

「そんなもんなんだよー、女しかないと言はてきとーになるのです、いろいろ。それとこれは男女ともだけど、最近試験官のレベルが低いような気がする」

「そうだな、前回と言えは電卓禁止になったにもかかわらず、電卓を使っている受験者がいたのにそれに気づかない試験官もいた。その他、前回はひどい受験会場があったから後で試験センターが受験者に聞き取り調査を行ったという。ま、今回から引き締めがあったらしく試験官は名札をつけていた」

「つけていただけっぼいけどさー」

「うーん、そうかも知れないな。とにかく、そういう罫も張り巡らされているものの、試験会場で受けないことには始まらないし、終わらない」

「お昼はおべんとーなん けど、午後Ⅰと午後Ⅱの間の30分休憩は甘いものを食べる のです。糖分は頭を癒すのです。ついでに歩きます。午後Ⅱの勉強はなんかもういい感じです♪」

「どういい感じなんだかわかりませんが、基本的に午後Ⅰの試験は時間いっぱいかかるようにできているので、午後Ⅱの前には甘いものでしょうか」

「楽しそうだよねー、お昼も高度だと1時間半もあるからおべんと食べたらお散歩してついでにちょっとお勉強することもできるし。それで言うとソフ開って基礎なのかなー、お昼1時間しかないから」

「そういう問題じゃない。間違ってもお昼で午前の答え合わせなんかするものではないことだけは言っておいて、話を戻す」

「逆に工学系の大学だと女子トイレが少なくて大変で…」

「そこに戻らなくていい。受験するべきであることを説く話に戻る」

「あうう、それはそれで受ければよいってことだよね、合格者って応募者じゃなくうて受験者からの割合で決まっているから、次ページの表2を参照のことよ」

「うーんたった2年分だが、ま、大体試験種別で合格者の割合は同程度だな」

「でしょ。だったらたくさん受ければ合格者数も多くなる。その中に自分も入るかもしれない」

「そりゃ、受けているんだからな」

「そう、それに受からなくてもそれだけで勉強になっているんだから、半年に一度の総合学習だとか割り切って受験していればそれはそれで有意義だしね」

「で、どうだった今回ののは？」

「うおー！」

「？」

「午後Ⅱの論文が概要説明800字書き終わったら1時間経過！ 後1時間で最低1600字書けなんてひどーいっ！」

「そうなのか、で、最後まで書けた？」

「書いた！ 流れるような日本語と字体とで2000字書いて最後に以上ってちゃんと書いた！！」

「そ、か…字が汚いのは減点対象だな…」

「うー、もう済んだことは忘れる。秋の試験を展望しようよ。三ヶ根の展望台から望む三河湾はもーさいこー！」

「マイナーな展開だな…」

「いいから秋の試験を受けようと思って情報をチェックしていたらこんな秘密情報を発見したのだ！」

「秘密って…、情報処理試験センターの統計情報が？」

「そうだ！ 表は表でも表3だ！ 表ひょう言ってるとしよっかーな気分♪」

「…」



| 実施期 | 試験区分 | | 平成 13 年 | 平成 14 年 |
|-----|----------------------------|-----|---------|---------|
| 春期 | ソフトウェア開発技術者 | 応募者 | 84,525 | 83,086 |
| | | 受験者 | 51,225 | 49,606 |
| | | 合格者 | 8,067 | 5,793 |
| | | 合格率 | 15.70% | 11.70% |
| | テクニカルエンジニア (データベース) | 応募者 | 22,369 | 24,322 |
| | | 受験者 | 11,814 | 13,225 |
| | | 合格者 | 902 | 1,166 |
| | | 合格率 | 7.60% | 8.80% |
| | テクニカルエンジニア (システム管理) | 応募者 | 13,544 | 13,546 |
| | | 受験者 | 6,765 | 6,995 |
| | | 合格者 | 463 | 528 |
| | | 合格率 | 6.80% | 7.50% |
| | テクニカルエンジニア (エンベデッドシステム) | 応募者 | 3,890 | 3,856 |
| | | 受験者 | 2,495 | 2,377 |
| | | 合格者 | 254 | 236 |
| | | 合格率 | 10.20% | 9.90% |
| | 初級システムアドミニストレータ (春期) | 応募者 | 109,507 | 120,004 |
| | | 受験者 | 73,905 | 81,311 |
| | | 合格者 | 26,807 | 25,144 |
| | | 合格率 | 36.30% | 30.90% |
| | システム監査技術者 | 応募者 | 6,729 | 8,383 |
| | | 受験者 | 3,282 | 4,160 |
| | | 合格者 | 236 | 286 |
| | | 合格率 | 7.20% | 6.90% |
| | 基本情報技術者 (春期) | 応募者 | 128,270 | 134,252 |
| | | 受験者 | 84,113 | 89,093 |
| | | 合格者 | 14,741 | 16,632 |
| | | 合格率 | 17.50% | 18.70% |
| | 春期試験合計 | 応募者 | 368,834 | 387,449 |
| | | 受験者 | 233,599 | 246,767 |
| | | 合格者 | 51,470 | 49,785 |
| | | 合格率 | 22.00% | 20.20% |

表 2

| 試験区分 | 平成 13 年度 | | | 平成 14 年度 | | |
|----------------------------|----------|------|------|----------|------|------|
| | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 応募者 | 受験者 | 合格者 |
| 春期試験 | | | | | | |
| ソフトウェア開発技術者 | 29.5 | 29.2 | 27.6 | 29.5 | 29.1 | 26.4 |
| テクニカルエンジニア (データベース) | 32.2 | 32.1 | 30.4 | 32.4 | 32.2 | 30.7 |
| テクニカルエンジニア (システム管理) | 35.1 | 35.2 | 35.0 | 35.6 | 35.6 | 35.2 |
| テクニカルエンジニア (エンベデッドシステム) | 33.6 | 33.5 | 33.3 | 33.7 | 33.6 | 33.5 |
| 初級システム アドミニストレータ | 30.0 | 29.7 | 29.7 | 29.9 | 29.4 | 29.8 |
| システム監査技術者 | 39.0 | 39.0 | 38.1 | 39.2 | 39.4 | 38.4 |
| 基本情報技術者 | 25.1 | 24.5 | 24.8 | 25.4 | 24.7 | 24.7 |
| 秋期試験 | | | | | | |
| システムアナリスト | 38.6 | 38.7 | 37.9 | 38.8 | 38.8 | 39.1 |
| プロジェクトマネージャ | 38.4 | 38.5 | 37.8 | 38.4 | 38.3 | 37.5 |
| アプリケーションエンジニア | 33.1 | 33.1 | 32.2 | 33.1 | 33.0 | 32.0 |
| テクニカルエンジニア (ネットワーク) | 30.9 | 30.9 | 30.5 | 31.0 | 31.1 | 30.1 |
| 情報セキュリティ アドミニストレータ | 33.0 | 33.1 | 32.8 | 32.6 | 32.7 | 32.5 |
| 上級システム アドミニストレータ | 35.5 | 36.0 | 36.6 | 35.7 | 36.2 | 37.2 |
| 初級システム アドミニストレータ | 29.5 | 29.0 | 29.2 | 28.9 | 28.3 | 28.5 |
| 基本情報技術者 | 24.8 | 24.2 | 24.6 | 24.9 | 24.4 | 24.3 |

表 3

「表 3 の数値をなんと見ます？」

「小数点以下第 2 位で四捨五入されたような情報に見えるが、これはどう見ても平均年齢だな」

「そう！そして注目なのはこの合格者の平均年齢！」

「まあ、こんなもんだろう。でそれが一体？ は、もしや！」

「そうそう、きつとあなたの年齢その平均に近いほど、受かりやすいに違いない」

「いや、それは違うだろう。平均はあくまで平均で、その年齢に近いから受かりやすいかはヒストグラムとか分散とかで見ないと…」

「がーん、いいアイデアだと思ったのに。じゃあ、秋はなにさ！」

「いや、秋も春もないけど、秋は人気の高度試験が 2 種別もあるからどちらにするか迷うところ」

「ネットワークとセキュアだね？」

「そう、あとアプリも春にソフ開受かった SE の人には人気だ」

「いやーよねー、アプリっておいしそうでいい。…けどこれも論文あるんだよお」

「まあ、基礎をこれからって人は開発系なら基本情報だし、ユーザ系なら初級シスアド、どっちかとおてるならもう一方を受けることをお勧めします」

「でも基本から初級シスアドならまだ使用者としての立場の勉強でいいけど、逆はプログラムできないとお…」

「この際、今流行の Java を勉強してそれで受ければいい。面白いし、絶対ためになる。プログラムがオブジェクト指向でむづかしいならアセンブラか COBOL、これだとできることが限られているから勉強する範囲が絞れる」

「そっかーアセンブラかー、Z80 だったら C9 がリターンだったなあ」

「CASL II という擬似マシン専用のアセンブラだ。でももうやることはやりつくされているので問題はいつも似たようなもんだ」

「よし、じゃ、基礎はもういい高度に挑戦って人はなに？」

「当然情報セキュアだ、これだとシスアドから直接ステップアップ。どうしてもプログラムいやだな、とかなら基本情報やめてこっちでもいい」

「セキュリティは今大切だもんね。しかも午後Ⅱが論文どころか論述ですらない！ これ重要！！！」

「そう、午後Ⅰ同様の記述だからいいな」

「じゃ、そーゆーことでわたしはそれにしようかなー、でも秘密情報だと（表 3）32.5 歳かー、あ、ネットワークのが若い（30.1 歳）！」

「だからそれは…」

「ネットワークのが若いからそれにする！ そっちのが近い！ だからその対策は？ 人気なんでしょ？」

「ま、確かにネットワークは人気ある。ただやはり午後試験に入ると経験があるほうがいい、特に午後Ⅱの論述はかなりの文字数で書かせるから」

「でも論文じゃないもん。もう論文いや！」

「まあ、セキュアド受かった人もネットワークとセキュリティはかわり深いののでそのままステップアップでネットワーク目指すのもいい。逆にネットワークとった後、セキュアド狙うのも重なる部分多いのでいいですね」

「でもそうなるとネットワークもセキュアドもとれちゃうとどーなるの！」

「いや、SE 経験あるなら絶対アプリ、ないなら上級シスアドとか…」

「なんにせよ全部論文あるじゃない！ 困る！ 論文だめー！ 大体なんでアプリ（32.0 歳）の方がセキュアド（32.5 歳）より若いのよー！ 許せない！ ネットワークの次にアプリするなんていやー！」

「だからその統計に従ったキャリアルートに従わなくてもいいのに」

「それにしても、統計的にいうとその合格年齢より上の人はもうそれに受かっていて然るべきということになっちゃう…。！ そっかー！ つまりその合格年齢より上の人は受ければ受かってしまうってことじゃないのー！？ がーん、つまり 40 歳以上の人は受かってしまうんだー！ どうしよう！ 四十にして惑わずってことー！？ あたし惑ってますかー！？」

「惑ってます」

「うおー！ 統計的に見て受かっているそこのあなた！ 受けられると平均年齢が上がるので困ります…。でも午後Ⅰは簡単でおいしいですよ♪ 焼き芋くらい」

「なんかわかりませんが全然困りません、受けてください」

おしまい

